

「技術の社会史」まとめのレポートの評価方法

評価の観点

1. 形式面

- ①分量： 用紙半分以上を埋めていること。
- ②段落分け： 段落分けが適切になされていること。(段落最初1字下げ)
- ③日本語： 誤字・脱字，言い回しや文法的なミスがないこと。
- ④引用等： 要約や引用が正しく行われていること。剽窃が見つかった場合は0点となる。

2. 内容面

- ①与えられたテーマから逸脱していないこと。
- ②それなりのストーリーがあること（支離滅裂でないこと，話が途中で終わっていないこと）。
- ③分かりやすい構成であること。
- ④単なる感想を書いていないこと。
- ⑤事実関係に誤りがなくないこと。
- ⑥影響関係や歴史的意義を根拠にもとづいて主張していること。

評価の基準

次の6段階で評価する。

- S 特に優れている。クラスで0～3名程度
- A 普通より良い。
- B 普通。このくらい書けていれば，まあOKという程度。
- C 普通より悪い。
- C- 普通よりかなり悪い。
- D 最低水準をクリアしていない。

成績評価の方法

6段階評価を以下のように点数化し，下記の計算式でまとめのレポートの点数（70点満点）を算出する。

- S 10点
- A 9点
- B 8点
- C 7点
- C- 6点
- D 0～5点

計算式

$$\text{評点} = (\text{各回レポートの点数の平均}) \times 7 \quad \text{※上限70点}$$

注：欠席して不提出のレポートは0点として計算する。